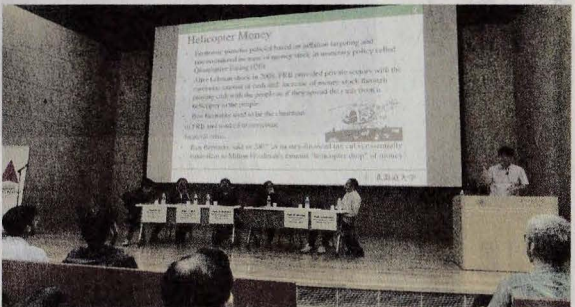


# 「アベノミクス」活発に議論

日伊の研究者 北大でフォーラム



研究者が活発に意見を  
交わしたフォーラム

北海道大で29日、日本やイタリアの研究者が数学と経済学について意見を交わすフォーラムが開かれた。北大とイタリア・ピサの大学との間で研究者の交流があったことから実現した。約70人の聴衆を前に、研究者が、安倍首相の経済政策「アベノミクス」などについて活発に議論した。

北大は東大などととも  
に、文部科学省が国際競争力を高めるため重点支援する「スーパーグローバル大学」に選ばれている。フォーラムではアベノミクスや最新の経済理論についての研究が紹介され、パネリストから「失業、貧困が大きな問題となって経済システムが危機に直面しており、新しい施策が必要」「世界を理解し、変化に適應するためにも日本とイタリアの研究者の協力が必要」などの意見が出された。